

ボツワナ共和国月報(2025年6月)

主な出来事

【内政】

- アウトウェツィ元大臣、死去
- マエレ高等教育大臣、TVET(技術・職業教育訓練)を促進
- 交通・インフラ省、NDP12に向けたインフラ計画の見直しを実施
- 首長議会、第3会期を開催
- ンガミランドの少数部族、首長法等の改正協議を拒否
- DCEC、汚職撲滅に向けた戦略を発表
- 中国大使、子ども福祉・基礎教育大臣を表敬
- 憲法改正
- ボコ大統領、全国営企業のトップの契約を更新
- 公務員の給与の増額、0.7%に止まる

【外政】

- ボコ大統領、米国及びハンガリーを訪問
- ブタレ国際関係大臣、ハンガリーを訪問
- ハオラテ副大統領、開発協力強化及びグローバル開発イニシアチブ(GDI)推進に関する覚書に署名
- ブタレ国際関係大臣、中国へ実務訪問
- ブタレ国際関係大臣、中国外相と二国間会談
- ボツワナと中国、牛肉議定書に署名
- ブタレ国際関係大臣、CPAFFC会長と会談
- マシシ前大統領、ベルリン訪問
- マシシ前大統領、モザンビーク訪問

【SADC関連】

- 第34回南部アフリカ開発共同体(SADC)貿易大臣委員会及び第24回地域経済統合閣僚タスクフォース会議の開催
- SAMIDRC撤退に関する更新情報
- SADC財務・投資大臣会議の開催
- SADC教育・訓練、科学・技術・イノベーション担当合同閣僚会議の開催

【経済】

- インフレ率(2025年5月)—1.9%—
- 国際商品貿易統計(2025年4月)—20か月ぶりの黒字—
- 世界銀行、ボツワナの景気減速を指摘
- ボツワナ政府、銅採掘を優先
- OPEC基金は、ボツワナ政府への2億ドルの融資を承認

○ 第17回米国アフリカ・ビジネスサミットの開催

○ 金融政策金利は1.9%で据え置き

【大使館関連行事】

○ ンコヤピリ小学校引渡し式

【内政】

○ アウトウェツィ元大臣、死去

3日、アウトウェツィ前地方自治・地方開発大臣が、ハボローネ市内の病院で死去(享年76歳)した。同前大臣は、前与党ボツワナ民主党(BDP)所属で、マシシ前政権では、セロウェ北選挙区でボツワナ愛国戦線(BPF)候補に敗れたものの、特別選出議員に選出され、2022年から2024年まで地方自治・地方開発大臣を務めていた。

○ マエレ高等教育大臣、TVET(技術・職業教育訓練)を促進

11日、マエレ高等教育大臣は、技術・職業教育の変革を主導するTVET当局(TVETA)を設立することを再確認した。また、全ての機関で教育の質の保証とスキル認定を目的としたTVET国家資格枠を導入する計画を発表した。同大臣は、国民の認識を変え、より多くの若者を職業教育に引きつけるため、職業訓練校を再ブランド化し、人的資源のより効果的な活用と運営効率の向上を目的に機関の集約を進める計画を明らかにした。加えて、2025年8月から職業訓練校に通う学生への手当を引き上げ、大学生への支援制度と足並みをそろえることも確認した。この発表以降、同省はTVETへの出願が大幅に増加している旨明らかにした。

○ 交通・インフラ省、NDP12に向けたインフラ計画の見直しを実施

現在、運輸・インフラ省は第12次国家開発計画(NDP12)に一部のプロジェクトを盛り込む必要性や妥当性を検証するため、全てのインフラ計画で、特に道路計画において優先順位を特定する作業を進めている。アタメンラン副大臣は、誤った判断に基づく過去の計画を正す必要があると指摘した。

○ 首長議会、第3会期を開催

16日～27日、マロペ2世が議長を務めて、首長議会の第3会期が開催された。会期中、「ジェンダーベースの暴力に反対する」というテーマで、チョンボ青年・ジェンダー大臣も出席したセミナーが開催された。

○ ンガミランドの少数部族、首長法等の改正協議を拒否

モツェクァ地方自治・伝統問題大臣は、少数部族の住民らとマウンで首長法等の改正

協議を実施した。住民からは、法改正ではなく憲法の改正を求める声上がるなど、協議を拒否する動きがみられた。

○ DCEC、汚職撲滅に向けた戦略を発表

マカカネネ汚職・経済犯罪局(DCEC)局長は、脆弱な規則と法遵守のない調達により政府系企業が汚職の温床となっていると指摘し、2025年のDCECの戦略として、調達、土地、輸送ライセンスを3つの汚職ハイリスク分野に指定して重点的に対応していく方針を示した。

○ 中国大使、子ども福祉・基礎教育大臣を表敬

19日、范中国大使は、カフェラ・モコカ子ども福祉・基礎教育大臣を表敬した。同大臣は、中国による教育への継続的支援に謝意を示すとともに、高等教育等への更なる支援や、幼児教育、育児放棄への対応、学校給食プログラム、寮の整備等を重点分野として支援を求めた。

○ 憲法改正

モワサ大統領府担当大臣は、ボコ大統領が全政党から憲法審査委員の任命を準備しており、現行憲法の見直しの手続きは本年11月までに完了する予定であると明らかにした。

○ ボコ大統領、全国営企業のトップの契約を更新

ボコ大統領は、フォレンジック監査を実効的なものとするため、約62の全国営企業のトップの契約更新を認めた。このフォレンジック監査はアルバレス&マーサル中東が5,740万プラで請け負っている。

○ 公務員の給与の増額、0.7%に止まる

政府は、公務員を含む公的機関の職員の給与の増額を0.7%とすると発表した。労働組合との交渉は5月から本格的に実施されており、政府側は財政状況に鑑み、給与支払いの履行の困難さを繰り返し説明していた。

【外政】

○ ボコ大統領、米国及びハンガリーを訪問

4日～15日にかけて、ボコ大統領はアメリカ及びハンガリーを訪問した。4日～10日に開催されたデビアス社主催の宝飾業界の貿易イベント、ジュエラーズ・サーキュラー・キーストーン(JCK)トレードショー2025に出席。10日には、ニューヨークで開催される世界ダイヤモンド取引所連盟(WFDB)の年次ディナーで基調講演を行った。また、12日

から15日には、ブダペスト(ハンガリー)にて、ヴィクトル・ハンガリー首相と首脳会談を実施し、両者は相互の国際的な関心事や両国の二国間関係強化について協議した。同訪問にはケネウィンド鉱物資源・エネルギー大臣が同行した。

○ ブタレ国際関係大臣、ハンガリーを訪問

6日、ブタレ国際関係大臣はボコ大統領のハンガリー訪問に先立って、ブダペスト(ハンガリー)を訪問した。シーヤールト・ハンガリー外務大臣と外相会談を行い、協力強化の可能性のある分野について、議論を行った。

○ ハオラテ副大統領、開発協力強化及びグローバル開発イニシアチブ(GDI)推進に関する覚書に署名

9日、ハオラテ副大統領と范中国大使は、開発協力の強化及びグローバル開発イニシアチブの推進に関する中国とボツワナとの間の覚書に署名した。

○ ブタレ国際関係大臣、中国へ実務訪問

10日～15日、ブタレ国際関係大臣が中国で開催される「中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)フォローアップ閣僚会合」及び「第4回中国・アフリカ経済貿易博覧会(CAETE Expo)」に出席。同訪問には、ンツィマ通商・起業大臣、ラモハピ水資源・住宅大臣に加え、ボツワナ投資貿易センター(BITC)、ボツワナ食肉委員会(BMC)、ビジネス・ボツワナ(BB)、水道公社(WUC)等政府系企業の代表等が同行した。

○ ブタレ国際関係大臣、中国外相と二国間会談

10日、ブタレ国際関係大臣は王毅・中国外相と外相会談を実施。王毅外相はボツワナが中国の進めるグローバル開発イニシアチブ(GDI)に参加する決定をしたと述べた。また、両外相は牛肉議定書の交渉が成功裏に終わったことへの満足を示した。その他に、両外相はボツワナの中国大使館不動産の所有権の証明書を巡る問題や、人的交流としてのボツワナからの英語教師派遣、そのほか相互の利益となる更なる協力のあり方等について協議した。

○ ボツワナと中国、牛肉議定書に署名

13日、「FOCACフォローアップ閣僚会合」において、ボツワナと中国はボツワナ産牛肉の中国への輸出を可能にする牛肉議定書に署名した。

○ ブタレ国際関係大臣、CPAFFC会長と会談

13日、ブタレ国際関係大臣は、中国人民対外友好協会(CPAFFC)の楊万明会長と会談し、中国の発展から学ぶため、中国とボツワナの都市間での姉妹都市提携をさら

に増やすことを求めた。また、ボツワナ人英語教師の中国での就職機会を確保するため、ボツワナを英語を母国語とする国リストに含めるよう要請した。

○ マシシ前大統領、ベルリン訪問

16日～17日、マシシ前大統領は、ベルリン(ドイツ)で開催された「ベルリン気候変動モビリティ・フォーラム」で基調講演を行った。

○ マシシ前大統領、モザンビーク訪問

25日、マシシ前大統領は、マプト(モザンビーク)で開催されたモザンビーク独立50周年記念式典に前大統領夫人とともに出席した。

【SADC関連】

○ 第34回南部アフリカ開発共同体(SADC)貿易大臣委員会及び第24回地域経済統合閣僚タスクフォース会議の開催

5日、SADCはジンバブエにてSADC貿易大臣委員会及び地域経済統合閣僚タスクフォース会議を開催。同会議では、SADC工業化戦略とロードマップ2015-2063の実施、AfCFTAを含む自由貿易圏の活用、域内貿易促進、貿易関連紛争解決メカニズムの構築、鉱業セクターの活性化、投資環境の改善、SADC AfCFTA協議フォーラムの設立、SME支援などが主要議題となった。

○ SAMIDRC撤退に関する更新情報

12日、SADCは5月1日に公表されたSADCコンゴ(民)ミッション(SAMIDRC)の撤退について、3月13日の首脳会議決定に従い、コンゴ民主共和国(DRC)東部からのSAMIDRCの段階的撤退を継続中で、4月29日に開始された撤退は、第一段階として、装備の撤収を行い、第二段階として、6月12日からは人員と残りの装備の送還を開始したと発表した。ゴマとサケに駐留中の部隊は、まずタンザニアに移動し、タンザニア部隊はダルエスサラームへ移動、南アとマラウイの部隊はそれぞれ自国へ空輸される。

○ SADC財務・投資大臣会議の開催

12日～13日、SADCはヴィクトリアフォールズ(ジンバブエ)にて、SADC財務・投資大臣会議を開催し、地域開発基金(RDF)に関する進捗評価を行った。AfCFTA投資議定書との整合性確保や、国境を越えた自動車保険の調和の必要性を強調した。

○ SADC教育・訓練、科学・技術・イノベーション担当合同閣僚会議の開催

20日、SADCはハラレ(ジンバブエ)にて、SADC教育・訓練、科学・技術・イノベーション担当閣僚合同会議を開催し、社会経済成長と産業化、地域統合を支援するための教

育システムの地域全体における強化の緊急性を強調した。

【経済】

○ インフレ率(2025年5月)—1.9%—

4月の年間インフレ率(前年同月比)は1.9%となり、前月(2.3%)から0.4ポイント下降した。分野別寄与度は、上位から食品・非アルコール飲料(0.8%)、雑貨・サービス(0.8%)。

○ 国際商品貿易統計(2025年4月)—20か月ぶりの黒字—

4月のボツワナの輸入額は66.795億プラで、3月の76.248億プラ(改定値)から12.4%減少した。品目別割合は、燃料:27.0%、食品・飲料・タバコ:16.0%、機械・電気機器:14.0%、化学・ゴム製品:9.9%、車両運搬具:9.7%となっている。輸入元は、南アが最も多く62.1%、続いてナミビアが6.6%、モザンビークが5.9%、中国が5.2%、カナダが3.2%となっている。

また同月のボツワナの輸出額は76.233億プラで、3月の58.989億プラ(改定値)から29.2%増加した。輸出総額のうちダイヤモンドが79.9%、銅が11.0%、機械・電気機器が2.9%を占めている。輸出先は、UAEが35.6%、インドが23.6%、ベルギーが16.1%、南アが5.7%、中国が5.5%、豪州が5.2%となっている。

結果として同月の貿易収支は9.438億プラの黒字となり、2023年8月以来、20か月ぶりの貿易黒字となった。

○ 世界銀行、ボツワナの景気減速を指摘

世界銀行が新たに発表した「2025年貧困・平等ブリーフ」によると、ボツワナの経済成長と福祉の向上は過去15年間で鈍化している。同報告書では、ボツワナがダイヤモンドと大規模な公共部門に依存し続けていることが浮き彫りにされており、拡大する労働力に対して十分な雇用を生み出していないとしている。世界銀行は、2024年の貧困率を国際貧困ラインでは13.7%、UMIC貧困ラインでは61.5%と予測している。

○ ボツワナ政府、銅採掘を優先

16日、ハボローネで「鉱業の未来サミット 2025」が開催され、ケネウエンド鉱物資源・エネルギー大臣は、ボツワナ政府が銅を重要な経済牽引役として優先させる鉱物政策を発表した。同大臣は、経済強化のために鉱業セクターを多様化し、銅を中心とした非ダイヤモンド鉱物の開発に焦点を当てた新戦略を進めていると明らかにした。

○ OPEC基金は、ボツワナ政府への2億ドルの融資を承認

17日～18日、ハオラテ副大統領兼財務大臣は、ウィーン(オーストリア)で開催されたOPEC基金の開発フォーラムに出席した。同副大統領のオーストリア滞在中、OPEC基金は2億ドル(約27億プラ)のボツワナ政府への融資を承認し、交渉が成立した。

○ 第17回米国アフリカ・ビジネスサミットの開催

22日～25日、ボコ大統領は、ルアンダ（アンゴラ）で開催された第17回米国アフリカ・ビジネスサミットに出席した。同大統領は、「Race to Connect: アフリカのデジタル・バックボーンへの投資」と題されたハイレベル・パネルに出席し、ローレンソ・アンゴラ大統領とングエマ・ガボン大統領それぞれと首脳会談を実施し、ボツワナを投資・観光の目的地として宣伝した。

○ 金融政策金利は1.9%で据え置き

19日、ボツワナ中央銀行は、低迷する経済を支えるため、金融政策金利を1.9%に据え置くことを決定した。銀行がより容易に資金を調達できるよう、銀行への短期融資（レポ取引）の期間を7日間から最長1か月間に延長した。

【大使館関連行事】

○ ンコヤピリ小学校引渡し式

26日、小川臨時代理大使出席の下、モホディツァネ地区において、令和5年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力「ンコヤピリ小学校幼児教育棟建設計画」の引渡し式が行われた。本計画は、同小学校の敷地内に、幼児教育棟を建設することで、質の高い幼児教育を提供するもの。

（了）